

# 法華寺だより

令和5年 8月18日 240号

## 盂蘭盆会施餓鬼法要

(8月18日、午前10時より)

### お盆の季節



貴方も「いのちの繋がりといのちへの感謝」を今一度見直しませんか

新型コロナウイルス禍からもそれなりに癒えつつあると思われるようになりました。しかし、昨今日々の暮らしに追われる余りか、余りにもむごい仕打ちにより尊いいのちが奪われる事件などが多すぎます。

このような時勢だからこそ「いのちの繋がり」や「いのちへの感謝」を見つめ直すことが大切です。人間の進むべき道を示して下さるのがお釈迦様であり、日蓮聖人です。ご先祖様から伝わる「いのちの教え」。それを子孫達に伝えていく期間でもあるお盆が今年もやってきます。

## 日蓮宗のお経

## 感謝の心で食事をいただく

### ●● 食前のことば ●●

天の三光 (太陽、月、星の光)に身を温め、地の五穀 (米、麦、粟、黍、豆)に精神を養う、みなこれ本仏の慈悲なり。たとえ一滴の水、一粒の米も功德と辛苦によらざることなし。われらこれによって心身の健康をまっとうし、仏祖の教法を守って四恩 (①仏・法・僧の三宝の恩、②父母・先祖の恩、③国家や社会の恩、④天地一切、あらゆるものから受ける恩)に報謝し、奉仕の浄行を達せしめたまえ。 南無妙法蓮華経 いただきます

### ●● 食後のことば ●●

南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経 ごちそうさまでした

## 今月の聖語

### 「女性の力」

お釈迦様は、法華経（提婆達多品他）を通して男女平等等を宣言されています。

ひと昔前までは洋の東西を問わず、男性優位の考え方が当たり前でした。しかし、その男性も母親が居なければ生まれません。どちらが欠けても世の中は成り立たないのは明白です。男（ひと）は女（ひと）が有っての人なのです

法華経は  
女人の成仏を  
さきとする

「千日尼御前御返事  
日蓮聖人御遺文より」

※「千日尼御前」は、日蓮聖人が佐渡流罪の際役人の目を盗んでご供養した阿仏房の妻。阿仏房が身延に三度も詣ることが出来たのは、千日尼の尽力があつてのことであると阿仏房に文を持たせた阿仏房夫妻の子孫も宗門興隆に尽くされた

### ※ 感謝の心で食事を

食事は私たちが生きてゆくために不可欠なもの。食事は、様々な動植物のいのち、天地の恵み、様々な人々の作業があつて出来ることを感謝の気持ちを示し、この恩恵に報いるよう日々をおくりたいものです。また、どんなに空腹であってもそのまま死を迎える人、好きな料理をたらふく食べて死んでいく人。どちらも人間。でも、何かが違っている。



食事の前に「いただきます」

食事の後に「ごちそうさま」とこれからも手を合わせたい